

(様式1)

令和4年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案

(整理番号) 060	提案機関名 一般財団法人神奈川県内水面漁業振興会
要望問題名 アユ種苗生産の初期に発生するビブリオ病に関する試験研究	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 この数年、アユ種苗生産の初期に発生するビブリオ病による大量へい死が問題となっている。様々な対策は行っているものの、解決には至らず毎年発生している。安定的な生産を行うために、ビブリオ病の発生を抑える方法を確立してほしい。	
解決希望年限	① 1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ② 2～3年以内 ③ 4～5年以内 ④ 5～10年以内
対応を希望する研究機関名	① 農業技術センター ② 畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③ 水産技術センター ④ 自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。（提案者は、以下記載不要）

回答機関名 水産技術センター	担当部所 内水面試験場
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可 <input type="checkbox"/>
試験研究課題名 (①、②、④の場合) アユ人工種苗研究	
対応の内容等 アユ種苗生産の初期飼育段階におけるビブリオ病対策は重要な課題として認識しており、これまで対策として、初期飼育水の塩分調整や投薬、当场から提供したバチルス菌による底質改善などの対策を指導・支援してまいりました。 令和3年度から、飼育施設の消毒方法への助言やビブリオ菌のモニタリング、バチルス菌によるビブリオ菌の増殖抑制効果の検討に取り組むとともに、巡回指導などから飼育状況を共有し、今後も生産現場と連携してビブリオ病の発生を抑制する方法の確立に努めてまいります。	
解決予定年限	① 1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ② 2～3年以内 ③ 4～5年以内 ④ 5～10年以内
備考	